

平成 30 年度 北海道小学校長会 第 5 回理事研修会 対策部活動報告 2019.02.22



今年度も対策部の業務推進に、ご支援
ご協力をいただいた。お礼申し上げます。

それでは、平成 30 年度の対策部の活動について、報告する。

まず、「会員必携」の編集・発行についてである。

道小の組織、活動計画、会則などの必要事項を見直しながら掲載し、
全道各地区、各部、関係機関の協力を得て、予定どおり 5 月 31 日発行、
6 月上旬には全会員へ配付した。

次に、「全道小学校校長会 会長研修会」についてである。

平成 30 年 6 月 15 日に開催した。各地区の皆様から事前にお知らせ
いただいた話題の中から、「新学習指導要領」「学力(体力)向上の取組」
「人材育成」「働き方改革」「コミュニティ・スクールへの取組」を共通
話題として取り上げ、話し合いを進めた。各地区会長より、地区の実情
をもとに具体的な意見交流が行われ、各地区が抱える課題に対する取組
や今後の課題等について共通理解を図ることができた。記録は、道小情
報特別号に掲載した。

次に「全道調査」の実施についてである。5 月に「広域人事に関する
調査」を該当校の校長及び異動者本人に実施し、結果は全道会長研修会
で報告し、参考資料とした。また、「校長退職者動向等調査」も同じく
5 月に実施し、その調査結果は第 2 回理事研修会で報告し、道小情報特
別号に掲載した。

続いて、平成 30 年度活動計画案についてお話しする。

活動方針・業務内容は今年度同様と考えている。

業務計画は、会員必携の編集・発行。「北海道小学校長会 全道会長研修会」の計画・運営。「全道調査」（広域人事に関する調査と校長退職者の動向等調査）である。各地区や道教委、関係機関の協力を得ながら行っていく。

また、「文教施策懇談会・各課懇談会」についても、今年度同様取り組んでいく。

最後に、現在、来年度の全道会長研修会の共通話題について検討中である。話題集約について、各地区の皆様にご協力いただき感謝申し上げます。新年度早々からは全道会長研修会や広域人事に関する調査について各地区への依頼事項があるので、確認の上、準備をお願いします。

以上、平成 30 年度活動報告と平成 31 年度の活動計画案についてお話しした。



平成 30 年度 対策部活動報告



～活動方針～

- (1) 学校経営上の諸問題や教育条件についての国や道・教育局に対する要望活動のための調査・情報収集・準備・調整等を行う。
- (2) 会員の身分の確立、勤務条件等の整備充実、組織の強化に必要な状況把握等を行い、他団体との連携強化に努める。
- (3) 教職員の安定した生活のために福利厚生 of 充実を目指し、状況の把握と条件整備を図る。

～業務計画内容に基づき報告～

(1) 「会員必携」の編集・発行

道小の組織、活動計画、会則等の必要事項を精査し、全道各地区、各部、関係機関の協力を得て作成。5月末に発行し全会員に配付された。関係諸団体等の資料編に関しては、道小 HP 上で掲載している。

(2) 「全道小学校長会 会長研修会」の計画・運営

平成 30 年 6 月 15 日(金)「ホテルライフオーソ札幌」に於いて実施し、砂川

対策部長の司会で進められた。今年度の共通話題は次の通りである。

- 1 「新学習指導要領について」
 - 2 「学力（体力）向上の取組について」
 - 3 「人材育成について」※広域人事調査報告
 - 4 「働き方改革について」
 - 5 「コミュニティ・スクールへの取組について」
- ・その他 情報交流 （へき複連・道特協からの情報含む）

この共通話題は、平成 30 年 2 月に各地区事務局長より共通話題の候補をご報告いただき、事務局で決定したものである。

6 月の会長研修会の開催に当たり、各地区より共通話題ごとの実情報告をいただき、資料として当日配付した。新年度早々からの取組であったので各地区のご協力に感謝申し上げます。

研修会においては、各会長から地区の実情報告を基に、共通話題ごとに、より具体的な意見交流が行われ、各地区が抱える課題や課題に対する取組について、共通理解を図ることができた。記録は、「道小情報特別号」に掲載した。

（3）「全道調査」の実施

平成 30 年 5 月 16 日に、広域人事に関する調査アンケートを全道の該当校の校長と異動者本人に対して実施した。（調査対象者 138 名のうち 121 名から回答を得た。回収率 88%）この調査結果は、全道会長研修会の参考資料及び今後の資料とし、理事研修会等において報告した。

また、校長退職者（平成 30 年 3 月 31 日退職者 166 名中 119 名が回答。回収率 71.7%）の動向等の調査も実施した。この調査は、今後に生かせる資料となるよう、項目等を精査し実施した。調査結果は、理事研修会で報告し、「道小情報特別号（平成 30 年 9 月 10 日発行）」に掲載した。

（4）「文教施策懇談会・各課懇談会」の取組

文教施策懇談会には、対策部長と副部長、幹事が出席した。

各課懇談会では、第 3 分科会に担当副会長・対策部長・副部長・幹事が出席した。提言 2 本は道特協指名理事がテーマ 1 「特別な配慮を要する児童生徒への対応」、へき複連指名理事がテーマ 2 「学びの支援のための条件整備」を担当した。道中との連携により業務を遂行。道小対策部副部長が運営、担当副会長が開会挨拶を行った。

（5）「全連小北海道大会・道小函館大会」における業務

総務部として大会運営業務と担当分科会運営業務を行った。

（6）その他

全道会長研修会は、全道各地区の貴重な情報交換の場であるとともに、道小としての道教委への要望や施策提言の根拠となる重要な話し合いの場でもあり、その意義が一層強くなっている。今後も、教育情勢から内容を吟味しながら、

よりよい企画・運営を行い会議の更なる充実を目指したい。

全道調査において、この数年広域人事と校長退職者の動向等調査を実施してきたが、管理職の他管交流などの教育情勢を考えながらも、現調査の重要性から、来年度も継続して調査活動を行っていきたい。